

LifeKeeper for Windows v8.7
DataKeeper for Windows v8.7
Single Server Protection for Windows v8.7
テクニカルアップデートインフォメーション

第1版



目次

はじめに	4
LifeKeeper for Windows v8.7の新機能・機能変更	4
■ 64ビット版 Java のサポート	4
■ OpenJDKの同梱提供	4
LifeKeeper for Windows v8.7の新規サポートOS・ソフトウェア	4
DataKeeper for Windows v8.7の新機能・機能変更	4
Datakeeper for Windows v8.7の新規サポートOS・ソフトウェア	4
LifeKeeper および DataKeeper の修正された重要な不具合	5
Single Server Protection for Windowsとは	5
お問い合わせ	6
免責事項	6
著作権	6

LifeKeeper for Windows v8.7
DataKeeper for Windows v8.7
Single Server Protection for Windows v8.7
テクニカルアップデートインフォメーション

改訂履歴

日付	バージョン	変更情報
2019/11/15	001	新規作成

1. はじめに

本文書ではLifeKeeper for Windows v8.7 / DataKeeper for Windows v8.7 / Single Server Protection for Windows 8.7の新機能や機能変更、また、重要なバグ修正に関する概要をまとめたものです。それらに関する詳細な情報につきましては、リリースノートやオンラインマニュアルをご確認いただくか、ご契約の製品サポートにお問い合わせください。

2. LifeKeeper for Windows v8.7の新機能・機能変更

■64ビット版 Java のサポート

本バージョンより、Oracle社が提供する最新のJavaセキュリティ更新を利用した64ビット版のOracle Javaをサポートします。また、32ビット版についても引き続きサポートします。

■OpenJDKの同梱提供

LifeKeeperでは以前、ユーザーインターフェイス用にOracle社が無償で提供するOracle JRE (Java)を同梱提供して参りましたが、最近Oracle社はJREを有償化しました。これに伴い、LifeKeeper for Windowsでは、Oracle JREの代わりに無償提供されている、OpenJDK (AdoptOpenJDK 12.0.1.12) を同梱提供することとなりました。

3. LifeKeeper for Windows v8.7の新規サポートOS・ソフトウェア

新規にサポートされたOS、ソフトウェアは以下の通りです。

[サポートOSの追加]

- Windows Server 2019 環境でのセキュアブートのサポートが追加されました。

[サポート対象ソフトウェアの追加]

- Oracle 19c

4. DataKeeper for Windows v8.7の新機能・機能変更

追加された新機能はありません。

5. Datakeeper for Windows v8.7の新規サポートOS・ソフトウェア

新規にサポートされたOSは以下の通りです。

[サポートOSの追加]

- Windows Server 2019 環境でのセキュアブートのサポートが追加されました。

6. LifeKeeper および DataKeeper の修正された重要な不具合

その他の修正に関する情報は、各プロダクトのリリースノートでご確認ください。ここではお客様にとって有意と思われる不具合修正情報に関してご案内します。

Bug id	Description
#4179	CHANGEMIRRORENDPOINTSで3ノードを超える構成のミラーボリュームのエンドポイントの変更がサポートされました。
#4430	ターゲットスナップショットファイルが破損する問題を修正しました。
#4477	Windows Server 2019におけるUEFIセキュアブートの利用が完全にサポートされました。
#4499	ファイアウォールが無効の場合でも、DataKeeperのファイアウォール・ルールを構成するように変更しました。
#4516	Java Launcherファイアウォール・ルールが不要となったため、構成しないように変更しました。

7. Single Server Protection for Windowsとは

Single Server Protection for Windows はWindows Serverの可用性を大幅に向上させるソフトウェアです。Single Server Protection for Windows は一般的なHAクラスソフトウェアとは異なり、単一のWindows Serverにインストールします。待機ノード用のコンピューター資源を用意しなくてもシステムの可用性を向上させることができますので、ローコストかつ容易にHAシステムの構築が可能です。

Single Server Protection for Windows は、アプリケーションの状態を定期的に監視します。そのアプリケーションの障害発生を検知した場合は、まずローカルリカバリを行います。これは障害を検知したWindows Server上での保護対象サービスやアプリケーションの再起動を意味します。アプリケーションの再起動ではサービスの回復に至らなかった場合は、Single Server Protection for Windows はWindows Serverの再起動を行い、サービスの復旧を試みます。

サポートされるOSはLifeKeeper for Windows v8.7と同等です。利用可能なARKは以下の通りです。ARKによって保護可能なアプリケーションのバージョンにつきましてもLifeKeeper for Windows v8.7と同等です。

ボリューム / IP / DNS / LAN Manager / ファイル共有 / 汎用アプリケーション /
Internet Information Services (IIS) / PostgreSQL Server / Oracle ARK / SQL Server ARK

詳細につきましては、Single Server Protection for Windows のリリースノートをご確認ください。

8. お問い合わせ

本ドキュメントの記載内容について、疑問点等がある場合は弊社サポート窓口までお問い合わせください。な

お、お問い合わせの一次窓口が弊社ではない場合があります。サポート証書にてサポート窓口を確認のうえ、適切な窓口にお問い合わせください。

<http://www.sios.com/products/bcp/lkdk/contact/>

9. 免責事項

- 本書に記載された情報は予告なしに変更、削除される場合があります。最新のものをご確認ください。
- 本書に記載された情報は、全て慎重に作成され、記載されていますが、本書をもって、その妥当性や正確性についていかなる種類の保証をするものではありません。
- 本書に含まれた誤りに起因して、本書の利用者に生じた損害については、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- 第三者による本書の記載事項の変更、削除、ホームページ及び本書等に対する不正なアクセス、その他第三者の行為により本書の利用者に応じた一切の損害について、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- システム障害などの原因によりメールフォームからのお問い合わせが届かず、または延着する場合がありますので、あらかじめご了承ください。お問い合わせの不着及び延着に関し、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。

10. 著作権

本書に記載されているコンテンツ(情報・資料・画像等種類を問わず)に関する知的財産権は、サイオステクノロジー株式会社に帰属します。その全部、一部を問わず、サイオステクノロジー株式会社の許可なく本書を複製、転用、公衆への送信、販売、翻案その他の二次利用をすることはいずれも禁止されます。またコンテンツの改変、削除についても一切認められません。本書では、製品名、ロゴなど、他社が保有する商標もしくは登録商標を使用しています。